

ざ・ちゅうおう ぷれす

2018年7月号 第92号

発行：世田谷区立中央図書館
世田谷区弦巻3-16-8
TEL 3429-1811
FAX 3429-7436

図書館ホームページ（パソコン） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

（携帯） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぷれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。



おはなし会に行ってみよう！

中央図書館では、赤ちゃん向け、幼児向け、小学生向け、多言語など様々なおはなし会を実施しています。土曜日や日曜日にもプログラムがあります。平日は忙しいお父さんやお母さんも是非ご参加ください。



おはなし会の予定は、図書館ホームページや中央図書館こども新聞「ちゅうちゅうしんぶん」に掲載していますのでご覧ください。

←多言語のおはなし会
外国語と日本語を交互に読んでいます

中央図書館カレンダー

| 7月 | | | | | | | 8月 | | | | | | | 9月 | | | | | | | 10月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | | 1 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 29 | 30 | 31 | | | | | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 30 | | | | | | | | | | | | | | |

開館時間

火～日 10:00～19:00
月・祝・休日 10:00～17:00

■ は、中央図書館休館日です。
■ は、17時に閉館です。

THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS

書を調べ、町へ出よう～ 温故知新、東京 1964 オリンピック

いま東京では2年後の東京 2020 オリンピックに向けて準備が進められていますが、今回は昭和 39 年の東京 1964 オリンピックについて、競技以外の動きを調べてみました。



前回の東京 1964 オリンピック競技大会は、昭和 34 年5月に開催が決定。

これを機に交通網の整備が進み、羽田空港が拡大され、東海道新幹線、東京モノレール、首都高速道路、環状七号線などが開通しています。競技会場では、神宮外苑一帯と現駒沢公園がオリンピック・パークとして開設され、日本武道館、代々木体育館、渋谷公会堂などが誕生しました。多くが 50 年を経てなお健在で、「大会後も市民の資産となり、長くスポーツ活動の場として利用せられるべき」五輪の理念を達したといえましょう。

【開会式・閉会式】

各入場券約 6 万枚のうち約 3 万枚が一般客に割り当てられ、抽選が行なわれました。前年 10 月に往復はがきで申し込み、1 月に抽選を実施。開会式の倍率は 87.0 倍でした。

料金は席により 6 等級に設定され、特等(8 千円)、一等(5 千円)～五等(5 百円)でした。同年の大卒初任給(約 2 万 1 千円)から換算すると、特等席は今なら約 8 万円となります。

競技のチケットは総数 190 万枚中 56 万枚が全国の小中高に配分され、一般分は前年 10 月から主に旅行代理店で、都内では国立競技場などの会場で予約販売されました。

徹夜組や転売による逮捕者も出ており、この辺りは今も昔も変わらないようです。

【交通・警備】

開会式(開門 10 時)の神宮外苑では、北は千駄ヶ谷駅～信濃町駅間、南は国道 246 号までを車両規制し、正午から開会式入場者以外は外苑への進入禁止に。警視庁は約 5 千人が対応、会場内外に約 13 万人※1 集ま

ったが警備は成功、と発表しています。会場内外の救急事故は 57 件で、こちらは東京消防庁開設以来最多とのこと。

鉄道では、中央線・銀座線とも大幅な増発を行ない、乗降客分散のため中央線※2 下り電車で来る人は信濃町駅、上りは千駄ヶ谷駅、山手線では原宿駅の降車を案内。それでも人出は膨大で、終了後 16 時から 1 時間に千駄ヶ谷駅は 2 万 2 千人(現在の一日の平均乗車人数を超えています!)、信濃町駅は 1 万 7 千人の乗車が記録されています。

改札や場内整理には、日体大・日大・国士舘大・順天堂大の学生が協力し従事しました。

【世田谷区では】

『世田谷区議会史』からいろいろ見えてきます。昭和 36 年度には「(五輪の) 影響から建築工事資材人件費高騰による入札不調が続出」の記載が見られます。昭和 38 年度に取り上げられている「ポリバケツの公費購入または一部助成」は、都が進めていた首都美化運動の一環で、「ゴミは路上に固定されていたゴミ箱に入れる」を改め

「蓋つきのポリバケツを家庭に備え、回収の時間に外に出す」方式を普及させるためのものでした。

昭和 39 年には区長が「オリンピック東京大会世田谷区協力会」を立ち上げ、区役

所前など 8箇所に歓迎塔を、国・五輪・区の旗を一組にした歓迎装飾を競技会場の駒沢公園・馬事公苑周辺に施し、駒沢公園内に直径 10mの花時計を寄贈したとの記録があります。

それでは、当時の会場、駒沢公園に出かけてみましょう。



駒沢公園はスポーツを楽しむ人であふれている ←

公園のシンボル「管制塔」TV中継の送信・電気・電話・給水などの機能を集約した設備だった →



公園内にある「東京オリンピックメモリアルギャラリー」当時使用された制服・用具・記念品などを展示している ← ↓

上が寄贈した「花時計」花と緑に溢れた会場は来場者に好評だった ↓



大会の様子を伝えるパネル展示 ↙

「東洋の魔女」はこの会場で金メダルを手にした ←



※1 会場周辺の人出は、翌日の新聞記事では 13 万人、東京都報告書では 20 万人と記載。

※2 資料のとおり（総武線も運行しています）。千駄ヶ谷駅には五輪対策の臨時ホームが残っています。

今回調べた地域資料等（いずれも中央図書館に所蔵しています。）

- ・第 18 回オリンピック競技大会公式報告書 7806 お
- ・第 18 回オリンピック競技大会東京都報告書 7806 た
- ・世田谷区議会史 GA3184
- ・駒沢オリンピック公園 GA6293
- ・朝日新聞縮刷版 昭和 39 年 10 月

平成30年度「子ども読書の日」記念講演会&ワークショップ

accototo (ふくだとしお) の絵本の世界 & 「たどってごらん」 絵本づくり



4月21日(土)開催

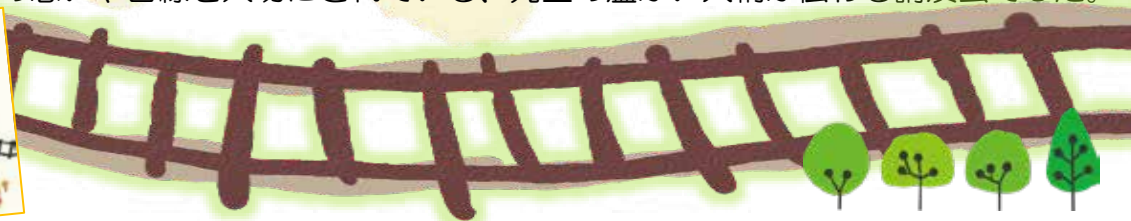
今年度は、絵本作家ユニット accototo のふくだとしお氏を講師にお招きし、講演会とワークショップを開催しました。講演会では accototo のお二人が普段どんな手法で絵本を作っているのかといったお話や、日常生活からどのように絵本づくりのアイデアを得るのかといったお話を、絵本の読み聞かせを交えながら語っていただきました。

ワークショップでは、絵本「たどってごらん」(イースト・プレス)を題材に、線路の描かれた紙に色を塗ったり絵を描いたりして、自分だけの絵本づくりをしました。最後には希望する子どもたちに前に出してもらい、完成した絵本を大きなスクリーンに映して発表しました。ふくだ氏からは一人一人に温かいすてきな感想をいただき、子どもたちも次々と発表の列に並んで絵本を見せてくれていました。



アンケートでは、「先生のおだやかなお話ぶりに魅了された」「大人も子どもも一緒になって絵本づくりを楽しめた」といった感想をいただきました。

子どもの思いや目線を大切にされている、先生の温かい人柄が伝わる講演会でした。



第12回世田谷区子ども読書活動推進フォーラム

子どもの読書とメディア第2弾「メディアリテラシーを考える」

2月24日(土)開催

平成28年度に、「子どもの読書とメディア」というテーマで開催したところ、とても反響があったことから今回は引き続き第2弾として、「メディアリテラシーを考える」をテーマに開催しました。

(メディアリテラシーとは情報を取捨選択し、読み取る能力のことをいいます。)

第1部 講演：後藤武士氏(教育評論家)

後藤先生ご自身の活字体験についてのお話や、テレビ・ラジオ・新聞・活字というそれぞれのメディアの特徴と向き合い方などについて講演していただきました。



第1部 講演の様子

第2部 区立中学校における取り組み

報告：来山憲(世田谷区教育委員会教育指導課指導主事)

出前講座や啓発ポスターなど、リテラシー教育のため区で行っている取り組みについて報告がありました。

第3部 質疑応答・意見交換

「子どもたちに読書に親しんでもらうために良い方法はあるか。」「インターネットの情報を子どもが疑わないがどうしたらいいか。」などの質問がありました。



「知的書評合戦 10代のビブリオバトル」 3月24日(土)開催

3月17日(土)の予選会(申込19名)を通過した、小学校4年生から高校3年生の9名のバトル(発表者)が発表を行いました。

観戦者40名の投票で、見事チャンプ本に輝いたのは、この2冊！！



小学生の部

『ナックの声が聞きたくて！』
村山司著(講談社)



中・高校生の部

『パリでメシを食う。』
川内有緒著(幻冬舎)

皆はじめは緊張した様子でしたが、オススメのポイントや面白いと感じた場面、その本を読んで考えたことなどを堂々と発表してくれました。アンケートからは「どの本も読んでみたくなりました」というご感想をいくつもいただきました。

ビブリオバトルとは バトラー(発表者)が面白いと思った本を5分で紹介・質疑応答を行います。すべての発表が終わったら「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に参加者全員で投票を行い、もっとも多い票を集めた「チャンプ本」を決定します。

来年3月にも開催を予定しています。皆さんも一推しの本を紹介してみませんか？

情報検索講座・初級編

「図書館ホームページ 調べ方のコツ」

3月29日(木)

リニューアルした図書館ホームページを活用して、読みたい本を探す方法を図書館職員が解説しました。



「一発で目的の資料をヒットさせるより、候補を絞り込んでたどりつくこと

を目指しましょう！」というアドバイスで、肩の力を抜いてスタート。本のタイトルの一部から探す、複数の条件で絞り込むなど、検索の基本から図書館ならではの手法まで、幅広く演習を行いました。グループごとに興味のあるジャンルを検索、アットホームな雰囲気でした。図書館ホームページには詳しい検索方法が掲載されています。ぜひご活用ください！

図書館活用講座・中級編

「貸出・予約だけではもったいない！

レファレンスのすゝめ」

1月21日(日)鳥山区民センター

図書館を上手に利用していただくために、図書館活用講座の中級編を開催しました。講師は『図書館で調べる』(筑摩書房)『図書館が教えてくれた発想法』(柏書房)など多くの著作のある高田高史氏(神奈川県立川崎図書館司書)です。

図書の分類の話から、図書館で実際に受けたレファレンス事例をどのように調査していったかなど、ご自身の経験を踏まえた楽しい講義でした。



★神奈川県立川崎図書館は社史の収蔵(約19,000冊)で有名な図書館です。

子どもコーナーに子ども新聞登場！

取り扱い新聞一覧

- ・ 朝日小学生新聞（日刊）
- ・ 読売KODOMO新聞（週刊）
- ・ 朝日中高生新聞（週刊）
- ・ 読売中高生新聞（週刊）

平成 30 年 4 月 1 日より収集を開始しました。
どうぞご利用ください。

＜ 設置場所 ＞

子どもコーナー閲覧用の机の奥にあります。
古い号は本棚の上にあります。



中央図書館の新聞を活用しませんか？

中央図書館で取り扱っている新聞の一部をご紹介します。

The Japan Times ST

※7月から
「The Japan Times alpha」
に紙名変更します。

中央図書館は5紙の英字新聞を置いておりますが、「The Japan Times ST」は和訳・解説付きの英字新聞で、辞書なしで読むことができます。英字新聞にハードルの高さを感じている方はぜひ手に取ってみてください。

英語力に自信がついてきたら、他の英字新聞や、海外から直接取り寄せている新聞（英語圏で5紙）もあります。図書館の新聞を英語力アップのため、活用してみたいかがでしょうか？



電波新聞

中央図書館が取り扱っている新聞の中でも、その名称から存在が気になってしまう新聞のひとつです。1950年創刊の新聞で、電子工業の発展をビジネスと技術の両面から報道しています。IoTやAI、自動運転、ロボットなど最新の技術やその開発動向を知ることができます。

他にも日刊自動車新聞や食糧新聞などの専門紙も取り扱っています。普段手にしない新聞も、読んでみると興味の幅が広がるかもしれませんよ！





新着図書案内



『「時」から読み解く 世界児童文学事典』 水間千恵 他編著（原書房）

「夏の終わり」になると、子どもの頃の夏休みの終わりを思い、今でも切なくなりません。誰にでも思い出の「時」があるのではないのでしょうか。



この本は「時」をキーにして、児童文学をさぐっていく本です。具体的な日付や季節、時代だけではなく、「晩ごはんのあとで」「満ち足りた時間」等の言葉で紹介されている児童文学もあります。その言葉に惹かれ紹介文を読むと子どもの頃好きだった本に、もう一度出会ったように感じ、読み直してみたいくなります。

昔、読んだ本を探すだけでなく、児童書を読む手掛かりになる本です。

※「もの」「場所」から読み解く同シリーズもあります。

【請求記号 9090 と】

『幕末・明治偉人たちの「定年後」—知られざる晩年から学ぶ人生の仕上げ方—』 河合敦 著（WAVE出版）

わかりやすい歴史解説でおなじみの著者による、ユニークな偉人伝です。



高齢化社会の日本では、定年後にまったく別のもう一つの人生を歩むことが可能であると筆者は主張し、そして、その新たな人生の可能性を考えるために、誰もが知っている偉人の第二の人生、つまり「定年後」の生き方を紹介しています。

明治の偉人たちの引退・隠居・転身・生涯現役などの多彩な選択肢は、きっと現代を生きる我々の人生の仕上げ方のヒントになることでしょう。

【請求記号 2810 か】

『地層のきほん—やさしいイラストでしっかりわかる 縞模様はどうしてできる？岩石や化石から何がわかる？地球の活動を読み解く地層の話—』

目代邦康 笹岡美穂 著
（誠文堂新光社）



本書は、地層に関する基本的なことから、地層からわかる地球のさまざまな特徴について、豊富なイラストで解説しています。本書によると、地層の状態や地層に含まれる岩石や化石などから、遠い過去に地球上で起こった環境の変化や自然災害などを読み解くことができます。一方、「地層の利用」の章では石材として、地下資源として、そして食用の岩塩として私たちの身近な暮らしの中にも利用されていることがわかります。巻末には、より詳しく勉強するためのガイドもついています。

【請求記号 4560 も】

『箱中天—箱の中の小宇宙』 高橋善丸 著（光村推古書院）

普段、身の周りで使用している箱。本書では、からくり箱のようなものや、一見ただけではどのような使い方をするのかわからないものなど、江戸時代から昭和時代までのレトロ感満載の箱が、用途別に沢山紹介されています。



おのずと日本の文化と歴史に触れることとなり、昔の人たちが工夫を凝らしていたことがわかります。

本書そのものが博物館、魅力のつまんだ箱のようです。見る方によっては、懐かしい物もあるかもしれません。

眺めているだけでも楽しい1冊です。お気に入りの箱を見つけてみてください。

【請求記号 7568 た】

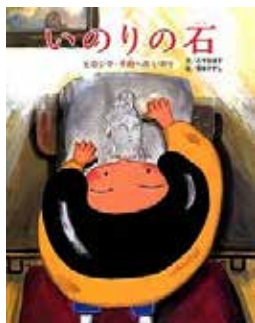
図書館からのお知らせ♪



朗読と音楽でお届けする『いのりの石 ヒロシマ・平和へのいのり』

対談：こやま峰子（童話作家） & 塚本やすし（絵本作家） 中央図書館開館 30 周年記念事業第 1 弾

『いのりの石』の原作者こやま峰子さんと挿画家塚本やすしさんの対談や、西山琴恵さんのうたと中村守孝さんの演奏を聞きながら、いのちの尊さを考えてみませんか？



日時：8月4日（土）午後2時～4時

会場：教育センター（中央図書館）
3階「ぎんが」

申込方法：電子申請、FAX等

※詳細は図書館で配布中のちらし、ホームページをご覧ください。

教育センター1Fロビーにて

『いのりの石』原画展も同時開催！

期間：7月27日（金）～8月29日（水）

落語と読書

落語家の入船亭扇治さんをお招きして、落語の独演会を行います。

日時：9月16日（日）午後2時～4時

会場：教育センター（中央図書館）

3階「ぎんが」

*申込方法など詳細は、「区のおしらせ8月15日号」やちらし（8月配布予定）をご覧ください。

学校おはなし会ボランティア講座(初級)

学校などでおはなし会ボランティアをしている方・これから始める方を対象にした講座です。

日時：10月～11月の

うち6日間

いずれも午前中

会場：教育センター及び

区内にある5会場

*申込方法など詳細は、

「区のおしらせ9月1日号」やちらし（8月配布予定）をご覧ください。



「大人のおはなし会」

おはなしたまごの会発足5周年を記念した特別おはなし会を開催します。

日時：8月17日（金）午前10時～

会場：教育センター（中央図書館）3階 織姫



編集後記

「かこさとしさんの絵本ありますか？」子どもコーナーで若いお母さんから尋ねられました。子どもの頃大好きだったので自分のお子さんにも読んであげたいとのこと。「だるまちゃん」とてんぐちゃん」は1967年に出版されたので、おじいちゃん、おばあちゃんからお孫さんまで三代で楽しまれているご家庭もあることでしょう。今年、だるまちゃんの仲間が3冊増えたのはご存知ですか。これからも仲間が増える事が楽しみでしたが、かこさんは、この5月に惜しまれつつ亡くなりました。

先日、亡くなる前に撮影された映像がテレビ放送され、その中で「だるまちゃんとうらしまちゃん」の草稿が映し出されました。闘病で苦しみながらも最後まで、子どもたちへ本を手渡すことに努められた姿に心をうたれました。

これからもずっと、かこさんの絵本は愛されるでしょう。ご冥福をお祈りいたします。